

OVOL

2024年3月期

決算説明資料

2024年5月21日

日本紙パルプ商事株式会社

決算ハイライト

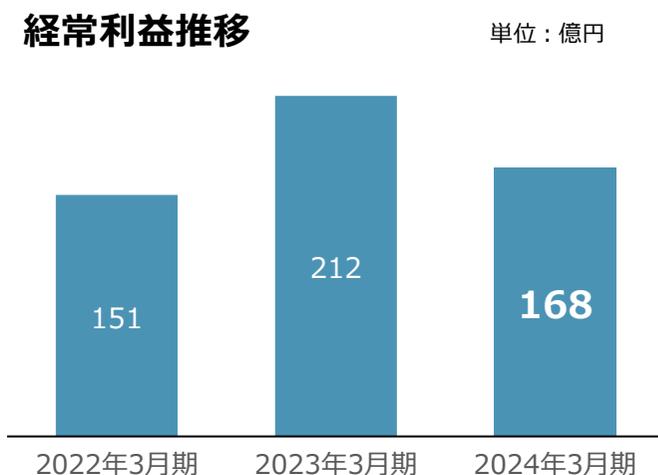
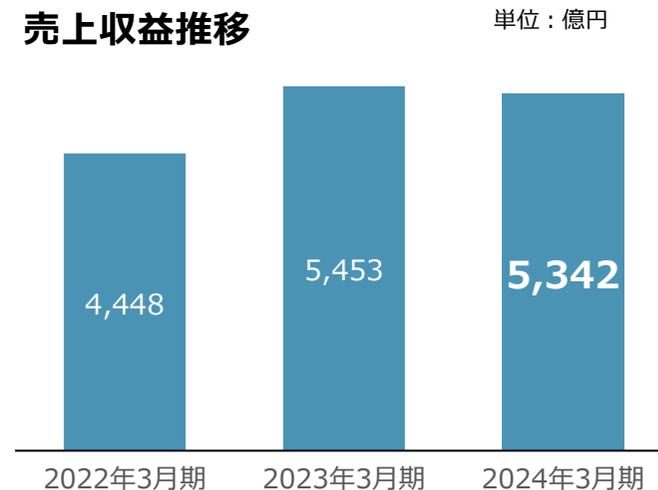
- 売上収益は、海外市場での紙・板紙および古紙の販売減の影響などにより、前期比減（前期比98.0%）
- 経常利益は、海外市場における販売減、および人件費・金融費用増加の影響が大きく、前期比減（前期比78.9%）
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期は固定資産売却益の特別利益の計上があったことから、前期比減
• （前期比40.8%）

連結業績概要

売上収益は海外市場の販売減を主因に減収、経常利益は海外市場での販売減、経費増が影響し減益

単位：百万円

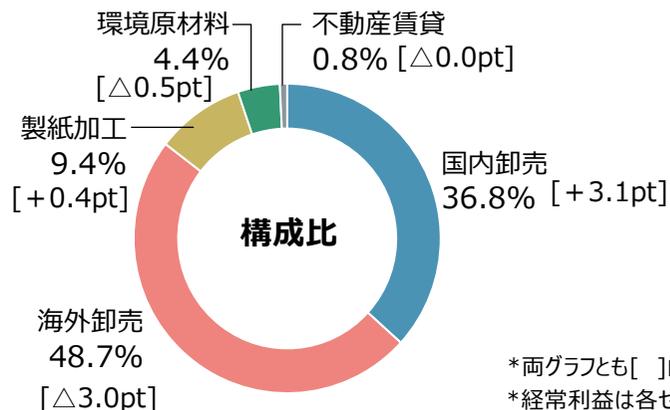
	2023年3月期	2024年3月期	前期比
売上収益	545,279	534,230	98.0
売上総利益	86,324	87,406	101.3
営業利益	20,264	17,403	85.9
経常利益	21,233	16,753	78.9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	25,392	10,357	40.8



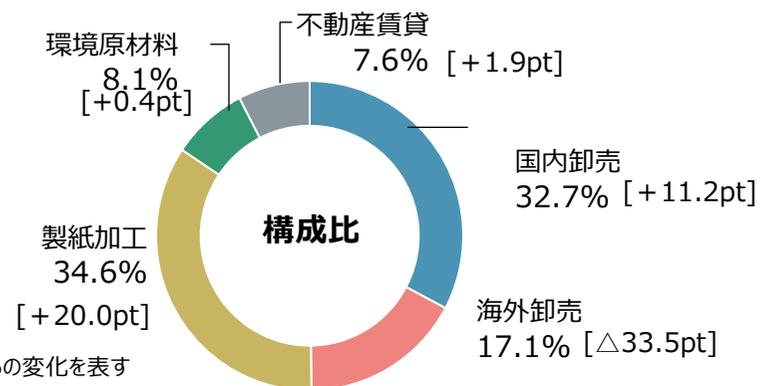
セグメント業績

安定収益基盤の強み ... 海外卸売は減収減益も、国内卸売、製紙加工での価格修正により、連結経常利益減少幅を縮小

セグメント別外部顧客への売上収益構成比



セグメント別経常利益構成比



*両グラフとも[]内の数値は構成比の前年度からの変化を表す
*経常利益は各セグメントの単純合計で調整額を除く

単位：百万円

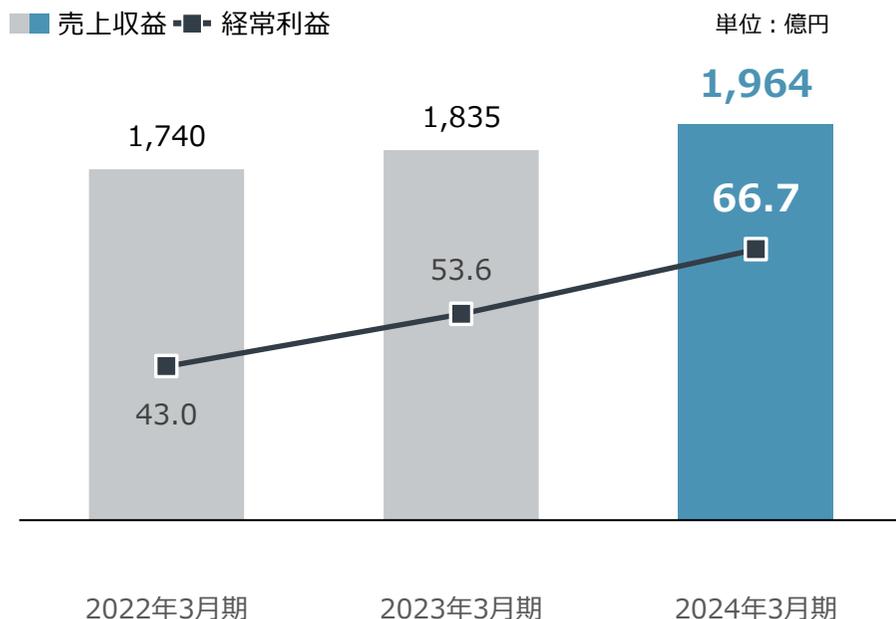
セグメント	外部顧客への売上収益			経常利益		
	2023年3月期	2024年3月期	前期比	2023年3月期	2024年3月期	前期比
国内卸売	183,516	196,359	107.0%	5,359	6,673	124.5%
海外卸売	281,858	260,104	92.3%	12,579	3,481	27.7%
製紙加工	48,945	50,051	102.3%	3,614	7,044	194.9%
環境原材料	26,776	23,641	88.3%	1,906	1,645	86.3%
不動産賃貸	4,184	4,075	97.4%	1,406	1,540	109.5%
調整額	—	—	—	△3,632	△3,630	—
連結損益計算書計上額	545,279	534,230	98.0%	21,233	16,753	78.9%

国内卸売セグメント概要 -1

売上収益：紙・板紙ともに価格修正による販売価格の上昇から、前期比増

経常利益：売上収益の増加、当社の組織改革をはじめとする業務の効率化などにより、前期比増

売上収益・経常利益推移



セグメントの概況

【紙】

定期雑誌の休刊や部数減、デジタルへの移行、チラシ・パンフレットなど広告向けの販売数量が前期比減となったものの、前年度実施した価格修正により販売価格が上昇し売上収益は前期比増。

【板紙】

インバウンド需要の回復による需要増があったものの、物価高による買い控えや、自動車および機械関連向けの需要が低調。販売数量は前期比で減少となったが、前年度に実施した価格修正により販売価格が上昇し売上収益は前期比増。

機能材料製品の需要はエレクトロニクス関連を始めとする回復が見られ、販売金額は前期比増。

国内卸売セグメント概要 -2

当社単体：販売数量・売上収益

	販売数量（万t）			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
紙	98.5	88.3	△10.1	89.7%
板紙	80.6	78.4	△2.1	97.4%

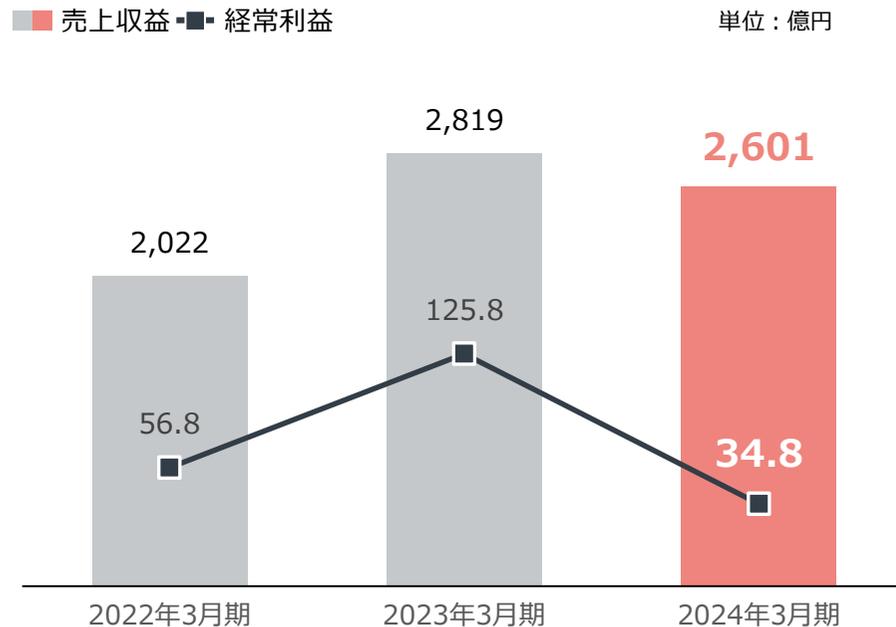
	売上収益（億円）			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
紙	1,205.3	1,301.4	+96.1	108.0%
板紙	313.0	331.7	+18.8	106.0%

海外卸売セグメント概要 -1

売上収益：主要市場におけるマーケットの在庫調整による販売数量の減少などから、前期比減

経常利益：売上収益の減少、一時的な利益率拡大の収束、人件費・金融費用等の増加により、前期比減

売上収益・経常利益推移



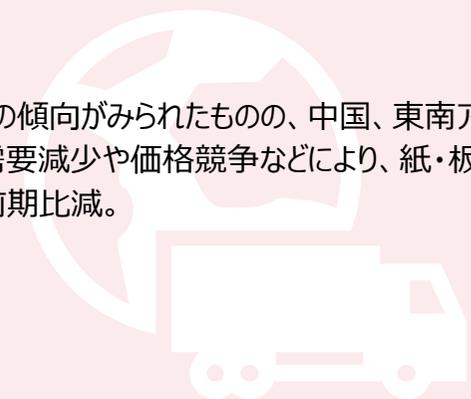
セグメントの概況

【主要マーケット状況】

米国・英国・豪州では、前年度に実施した複数回の価格修正の販売価格はほぼ維持できているものの、米国を中心として顧客などの在庫調整が長引きなど販売数量は前期比減。

【本邦からの輸出】

事業年度末にかけて回復の傾向がみられたものの、中国、東南アジアでの景気低迷による需要減少や価格競争などにより、紙・板紙の販売数量・金額とも前期比減。



海外卸売セグメント概要 -2

セグメント内 当社単体及び事業別売上収益・経常利益

	売上収益（億円）			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
当社	312.6	271.7	△41.0	86.9%
米国事業	1,332.1	1,034.4	△297.7	77.6%
欧州事業	458.6	573.4	+114.8	125.0%
オセアニア事業	435.1	471.5	+36.3	108.4%
アジア事業	280.1	250.1	△30.0	89.3%

	経常利益（億円）			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
当社	12.8	7.3	△5.5	57.0%
米国事業	55.6	18.1	△37.5	32.5%
欧州事業	30.4	6.0	△24.4	19.8%
オセアニア事業	21.1	9.0	△12.1	42.8%
アジア事業	5.9	△6.1	△12.0	—

セグメント内 地域別販売数量

(単位:万 t)	販売数量（万t）			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
米国事業	58.3	45.0	△13.3	77.2%
欧州事業	18.2	17.5	△0.7	96.1%
オセアニア事業	17.5	15.2	△2.3	87.0%

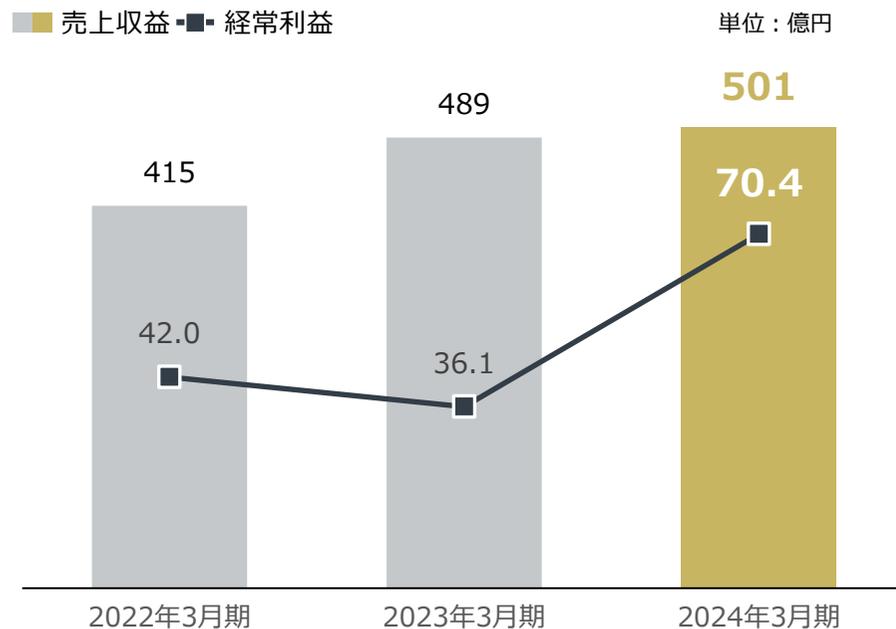
注：販売数量は主要子会社の単純合算であり、左表と集計対象は同一ではない

製紙加工セグメント概要 -1

売上収益：段ボール原紙・再生家庭紙ともに価格修正による販売価格の上昇から前期比増

経常利益：売上収益の増加や生産効率の向上などにより、前期比増

売上収益・経常利益推移



セグメントの概況

【段ボール事業】

販売数量は減少したものの、前年度に実施した価格修正により、売上収益は前期並み。

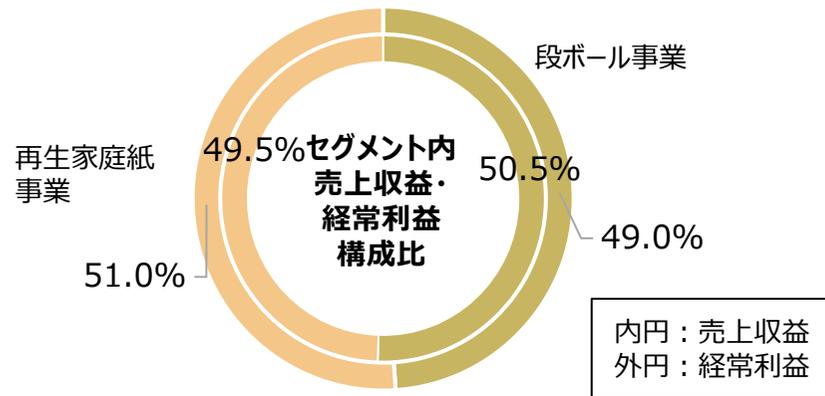
【再生家庭紙事業】

販売数量は減少したものの、前年度に実施した価格修正により平均販売価格が前年同期を上回り、売上収益は前期比増。

【経常利益】

原燃料費等は高止まりしているが、売上収益の増加、生産効率の向上などによる製造コストの低減などから前期比大幅増。

製紙加工セグメント概要 -2



セグメント内 事業別売上収益・経常利益

	売上収益（億円）			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
段ボール事業	253.0	253.0	△0.1	100.0%
再生家庭紙事業	236.4	247.5	+11.1	104.7%

セグメント内 事業別数量

	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
段ボール原紙事業 販売数量 (万t)	23.5	22.9	△0.6	97.6%
段ボール加工事業 販売数量 (万㎡)	16,322	15,735	△587	96.4%
再生家庭紙事業 生産数量 (万t)	11.7	11.4	△0.3	97.3%

	経常利益（億円）			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
段ボール事業	16.9	34.5	+17.6	203.8%
再生家庭紙事業	19.2	36.0	+16.8	187.8%

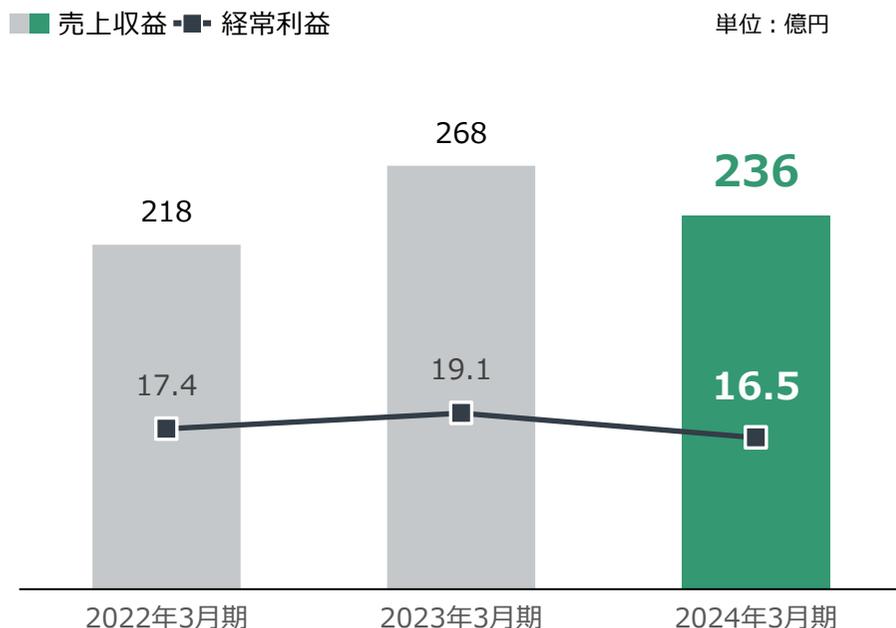
注：家庭紙のみ生産数量。また、生産・販売数量は主要子会社の単純合算

環境原材料セグメント概要 -1

売上収益：古紙の販売数量の減少などにより、前期比減

経常利益：売上収益減などにより、前期比減

売上収益・経常利益推移



セグメントの概況

【古紙】

国内・米国ともに紙・板紙需要の減少に伴う古紙の発生減による販売数量の減少、米国からの輸出価格の下落などにより売上収益は前期比減。

【パルプ】

海外製紙メーカー向け販売数量が増加

【再生可能エネルギー事業】

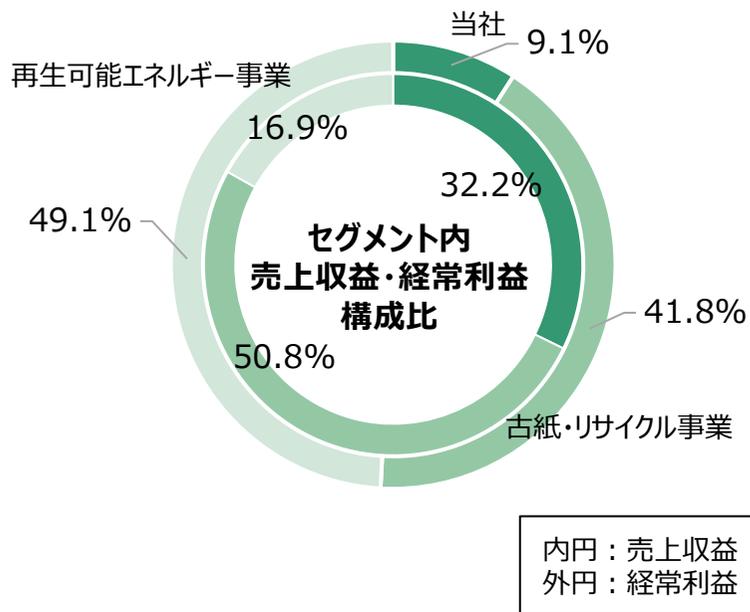
* 太陽光発電は順調、木質バイオマス発電は計画通りの操業状況であるものの、燃料費の上昇により収益は厳しい状況。

* 木質バイオマス発電所向け燃料の販売数量が増加、販売価格も上昇。

【総合リサイクル事業】

容器リサイクルの取扱および、RPF・古紙パルプの販売は順調
熊本県において新工場の新設を計画。プラスチックリサイクルの事業の拡大を目指す。

環境原材料セグメント概要 -2



セグメント内 当社単体および事業別売上収益・経常利益

	売上収益 (億円)			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
当社	67.6	76.2	+8.7	112.8%
古紙・リサイクル事業	160.0	120.2	△39.8	75.1%
再生可能エネルギー事業	40.1	40.0	△0.2	99.6%

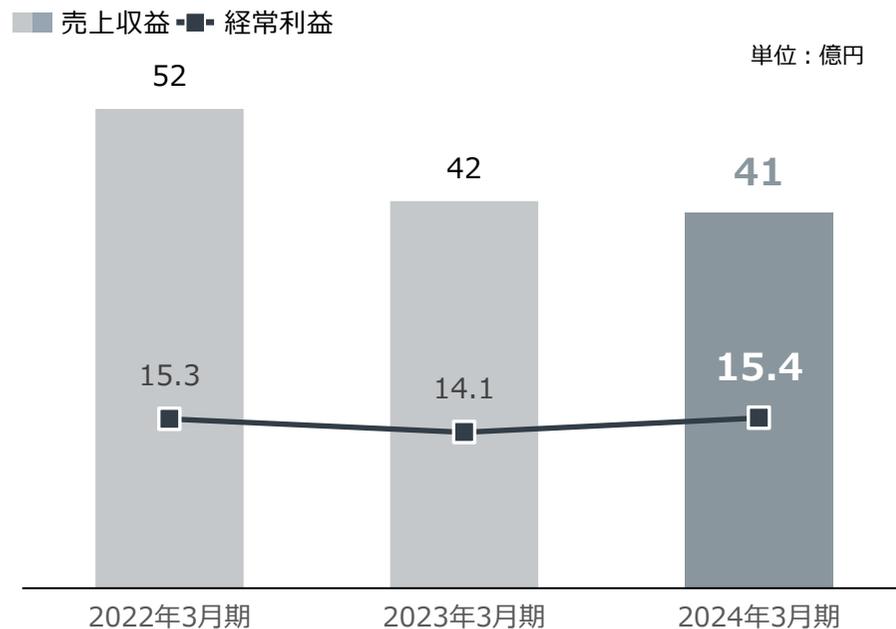
	経常利益 (億円)			
	2023年3月期	2024年3月期	前期増減	前期比
当社	1.5	1.5	△0.0	97.2%
古紙・リサイクル事業	13.6	6.9	△6.7	50.8%
再生可能エネルギー事業	4.0	8.1	+4.1	204.2%

不動産賃貸セグメント概要

売上収益：前期に固定資産の一部譲渡を行ったことから前期比減

経常利益：不動産管理費等が減少したことから前期比増

売上収益・経常利益推移



セグメントの概況

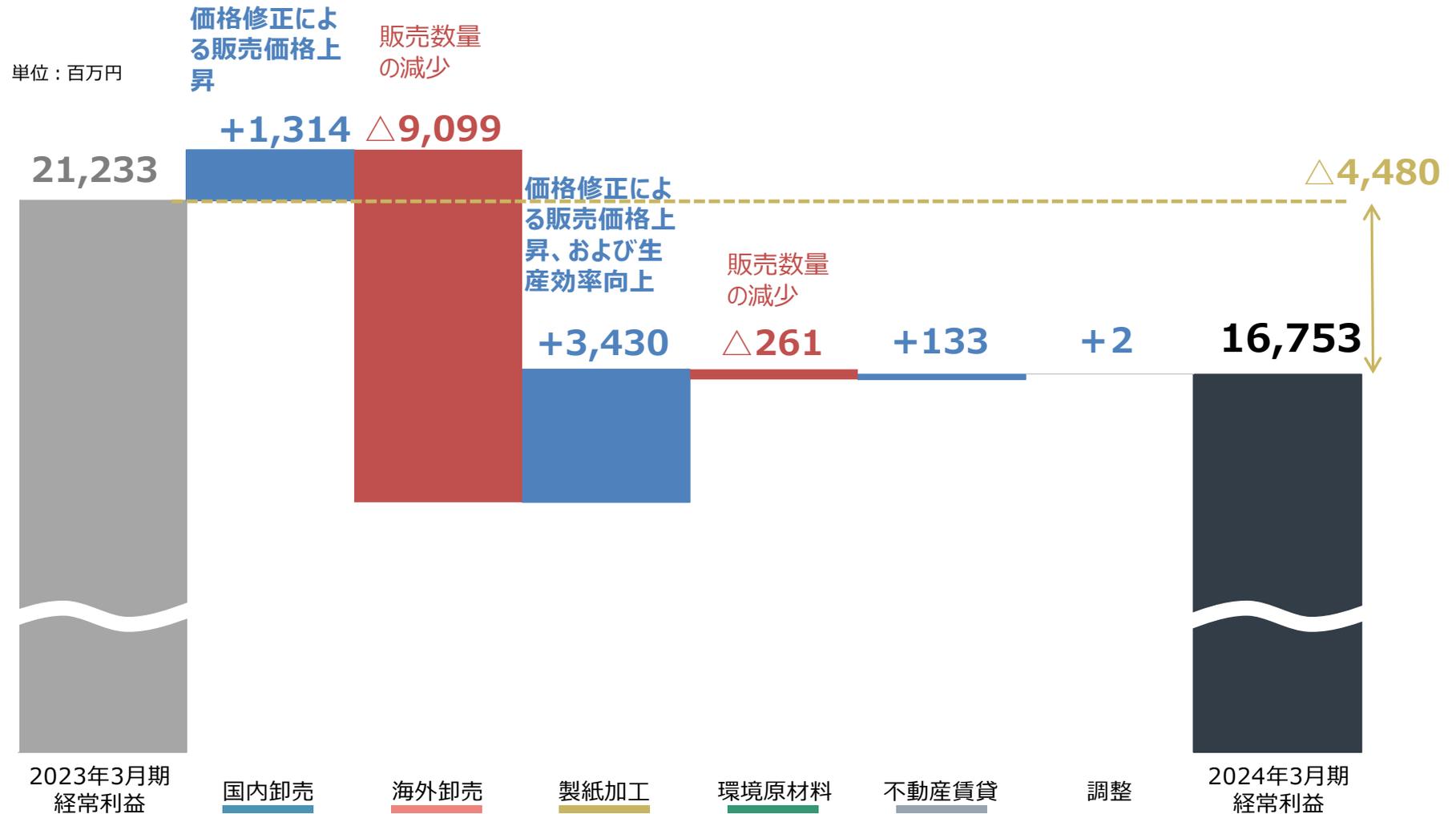
【売上収益】

2022年6月に、当社が東京都中央区に所有する固定資産の一部譲渡を行ったため賃貸料収入が減少、売上収益は前期比減



経常利益 増減益分析

前年度実績に対して△4,480百万円、78.9%で着地





II 2025年3月期業績予想

連結業績予想

2024年3月期実績に対して経常利益は107.4% 親会社株主に帰属する当期純利益は96.6%

単位：百万円

科目	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前期比
営業利益	17,403	18,000	103.4%
経常利益	16,753	18,000	107.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	10,357	10,000	96.6%

2020年3月期*対比の
伸長率

*中期経営計画2019最終年度

**経常利益
+83.7%**

**親会社株主に
帰属する当期純利益
+97.9%**

連結業績予想の前提

海外市場での販売数量増、国内販売価格の維持・上昇によって、連結業績予想は経常利益180億円

	見通し
国内卸売セグメント	<ul style="list-style-type: none">● 紙は需要減少の継続が見込まれるが、板紙は需要回復を期待● 物流費・人件費の増加
海外卸売セグメント	<ul style="list-style-type: none">● 顧客の在庫調整が収束、販売数量が回復● 補完的M&Aによるシェア拡大、高付加価値製品の販売増加
製紙加工セグメント	<ul style="list-style-type: none">● 原燃料・物流費等は高止まり、販売単価が上昇
環境原材料セグメント	<ul style="list-style-type: none">● 紙・板紙の消費量減少に伴う古紙発生量の減少

2025年3月期 セグメント別予想

セグメント別 経常利益予想

単位：百万円

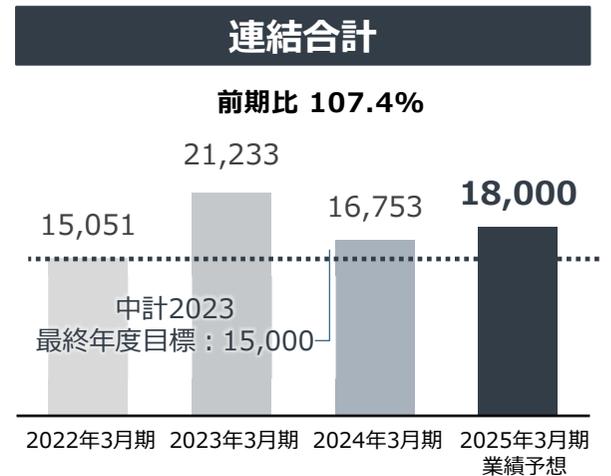
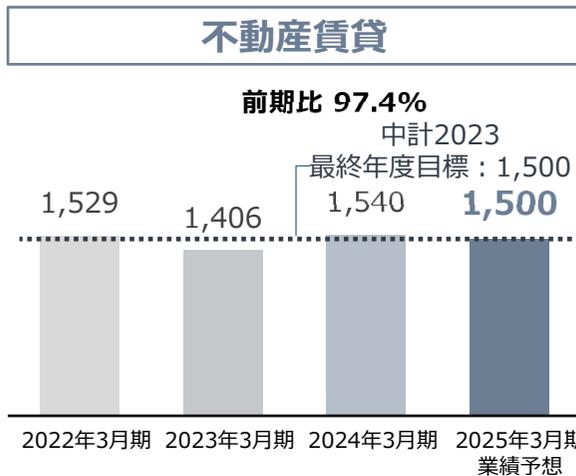
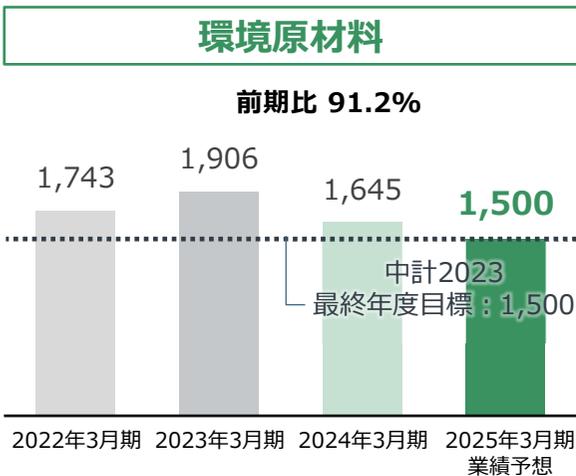
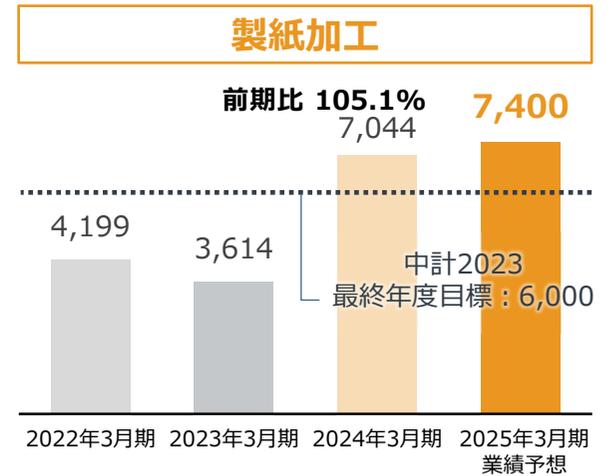
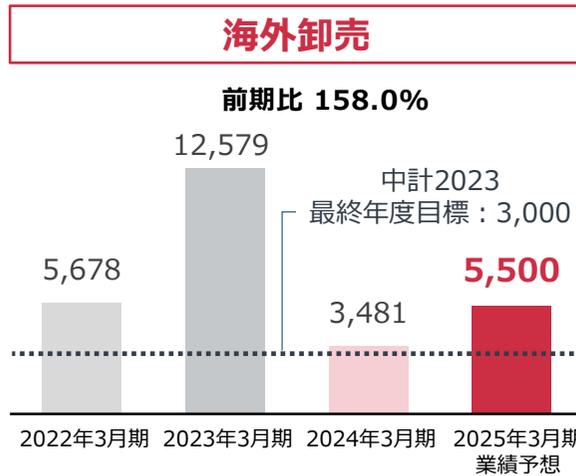
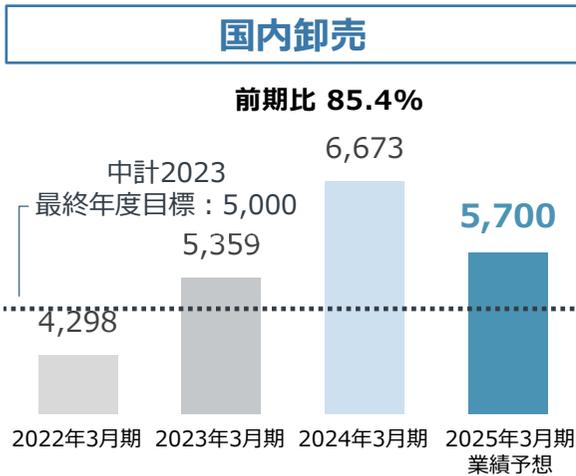
	2024年3月期	2025年3月期 予想	前期比	中期経営計画2026 最終年度計画 (2027年3月期)
国内卸売	6,673	5,700	85.4%	7,000
海外卸売	3,481	5,500	158.0%	8,000
製紙加工	7,044	7,400	105.1%	7,500
環境原材料	1,645	1,500	91.2%	2,000
不動産賃貸	1,540	1,500	97.4%	1,500
調整額	△3,630	△3,600		△4,000
連結経常利益	16,753	18,000	107.4%	22,000

前提条件：為替レート：USD141.83円、GBP180.68円、AUD96.94円（2023年12月末レート）

2025年3月期 セグメント別予想

セグメント別 経常利益推移

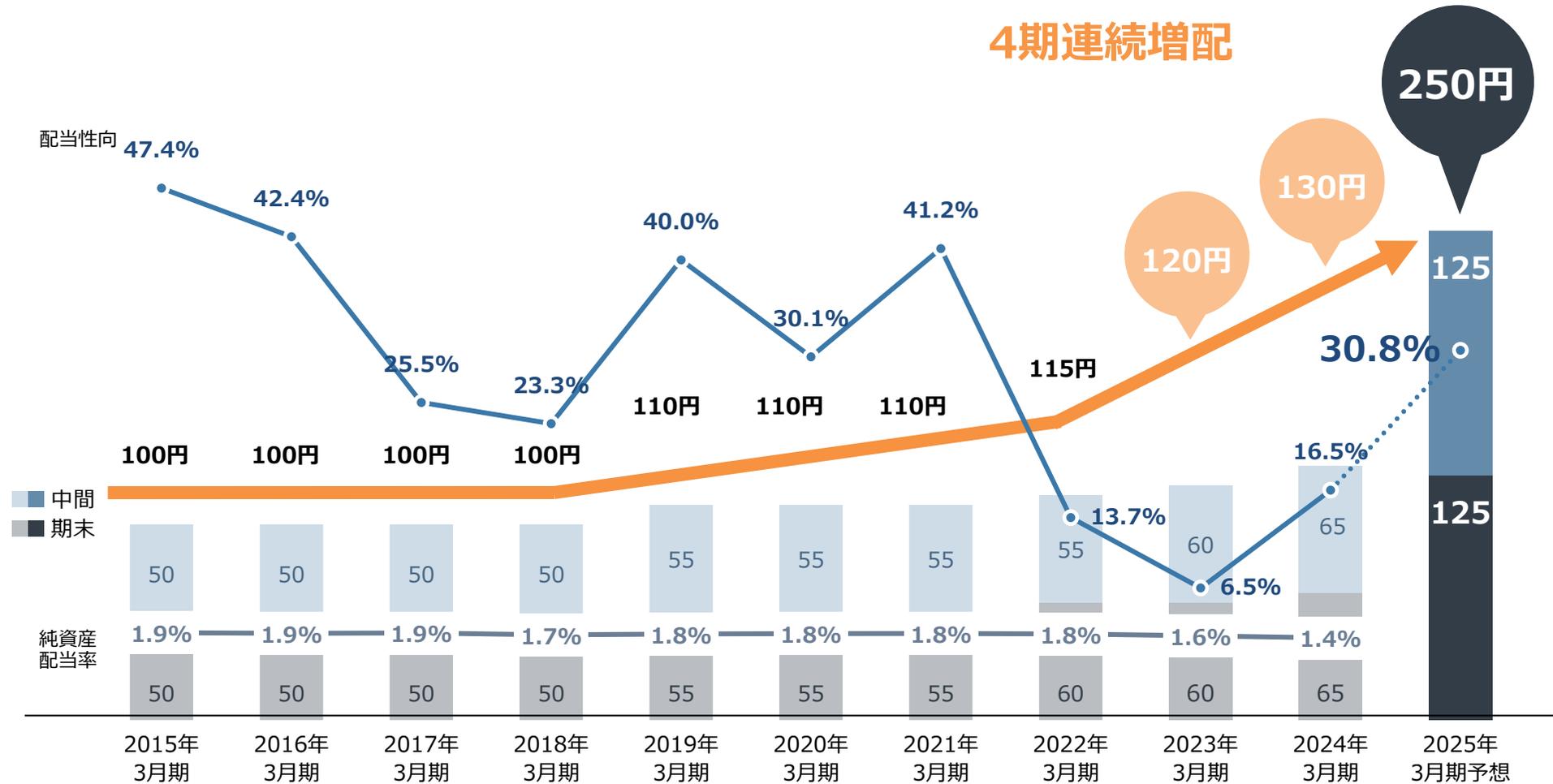
単位：百万円



株主還元方針

2025年3月期は年間配当250円を予定、4期連続となる増配

4期連続増配



※2018年3月期 期末に、10:1の株式併合を実施しております。それ以前の配当額については株式併合後と同条件にて表示しております。

2024年3月期 連結貸借対照表

資産の部

単位：百万円

	2023年3月期末	2024年3月期末
流動資産	240,028	222,963
固定資産	145,041	149,641
その他	61	41
資産合計	385,129	372,645

負債・純資産の部

単位：百万円

	2023年3月期末	2024年3月期末
流動負債	192,456	189,337
固定負債	64,378	44,960
負債合計	256,834	234,297
純資産合計	128,295	138,347
負債・純資産合計	385,129	372,645
自己資本比率	30.7%	34.2%
ネットD/Eレシオ	0.66倍	0.59倍

- 総資産は12,485百万円の減少。
流動資産は、売上増に伴い売上債権が増加した一方、預金、棚卸資産が減少。
投資その他の資産は、投資有価証券が時価の上昇による増加。
- 負債合計は22,537百万円の減少。
有利子負債や未払法人税などが減少。
- 当期末の有利子負債残高は92,957百万円となり、前年度末と比べ15,929百万円減少。⇒ ネットD/Eレシオは0.59倍と安定。
- 純資産は自己株式が増加した一方、利益剰余金、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加により、10,052百万円増加。

2024年3月期 キャッシュ・フロー

単位：百万円

科目	2023年3月期	2024年3月期	増減
現金及び現金同等物の期首残高	12,731	30,550	17,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	304	20,891	20,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,673	△2,917	△26,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,086	△31,678	△21,592
現金及び現金同等物の期末残高	30,550	17,387	△13,164

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の納付等の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益や棚卸資産の減少等により、20,891百万円の収入（前期は304百万円の収入）。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により2,917百万円の支出（前期は23,673百万円の収入）。
- フリーキャッシュ・フローは17,974百万円。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済や自己株式の取得等により31,678百万円の支出（前期は10,086百万円の支出）。
- 期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末から△13,164百万円の減少。



日本紙パルプ商事株式会社

〒104-8656 東京都中央区勝どき三丁目12番1号 フォアフロントタワー
www.kamipa.co.jp/

本資料で記載されている業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
これらの将来の見通しに関する記述は、本資料作成時において当社で入手しうる各種情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料は、記載された目標の達成および将来の業績を保証するものではなく、また、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。